

2021年8月5日

上場会社名 東京応化工業株式会社
 コード番号 4186 URL <https://www.tok.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 種市 順昭

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高瀬 興邦

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日

2021年9月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	64,808	13.3	9,574	43.7	10,052	48.1	6,399	37.9
2020年12月期第2四半期	57,203	16.9	6,664	50.5	6,785	54.0	4,639	58.7

(注)包括利益 2021年12月期第2四半期 10,703百万円 (142.8%) 2020年12月期第2四半期 4,408百万円 (101.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	154.05	153.73
2020年12月期第2四半期	112.00	111.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	211,542	165,396	74.4	3,783.24
2020年12月期	201,185	159,994	75.3	3,651.20

(参考)自己資本 2021年12月期第2四半期 157,318百万円 2020年12月期 151,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	60.00	—	94.00	154.00
2021年12月期	—	62.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	62.00	124.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2020年12月期における期末配当金の内訳 普通配当64円00銭、記念配当30円00銭

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	14.0	19,200	23.2	19,800	22.8	14,200	43.0	341.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	45,100,000 株	2020年12月期	45,100,000 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年12月期2Q	3,516,945 株	2020年12月期	3,591,418 株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	41,539,314 株	2020年12月期2Q	41,426,196 株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)における世界経済ならびに日本経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響から経済活動が抑制されたため、一部の経済活動において持ち直しの動きがあるものの、厳しい状況が続きました。

このような情勢の下、当社グループは、「豊かな未来、社会の期待に化学で応える“The e-Material Global Company”」という経営ビジョンの下、2021年度を最終年度とする3カ年の中期計画「tok中期計画2021」に掲げた全社戦略の遂行に総力を挙げて取り組んでまいりました。

材料事業においては、5GやIoT等の普及に加え、パソコン、データサーバーやスマートフォン向けの半導体需要が好調に推移したため、売上は前年同期を上回りました。また、装置事業におきましては、受注済み装置の検収が遅れたことから、売上は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は648億8百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は95億74百万円(同43.7%増)、経常利益は100億52百万円(同48.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は63億99百万円(同37.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 材料事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、639億37百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益は、123億13百万円(同34.0%増)となりました。これは、エレクトロニクス機能材料部門および高純度化学薬品部門の売上が好調に推移したことが主な要因であります。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	55,964	63,937	7,972	14.2%
営業利益	9,190	12,313	3,122	34.0%

部門別の概況は、次のとおりであります。

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年度を大幅に上回る375億69百万円(前年同期比17.1%増)となりました。これは、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、ディスプレイ用フォトレジストの売上が減少したものの、パソコンやスマートフォン向けなどの旺盛な半導体需要に支えられ、半導体用フォトレジストおよび半導体製造の後工程に主に用いられる高密度実装材料の販売が好調に推移し、売上が増加したことが主な要因であります。

高純度化学薬品部門の売上高は、前年度を上回る262億53百万円(同10.2%増)となりました。これは、半導体製造プロセスに使用される半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移し、売上が増加したことが主な要因であります。

② 装置事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、8億70百万円(前年同期比29.8%減)となりました。これは、受注済みの半導体製造装置等の検収の遅れが主な要因であります。

営業損失は、前年同期比68百万円改善し、2億25百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	1,239	870	△368	△29.8%
営業損失(△)	△294	△225	68	—

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,115億42百万円で、前連結会計年度末に比べ103億56百万円増加いたしました。

流動資産につきましては151億41百万円増加いたしました。これは現金及び預金が92億15百万円、受取手形及び売掛金が35億73百万円、たな卸資産が14億28百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定資産につきましては47億85百万円減少いたしました。これは設備投資により有形固定資産が34億27百万円増加したものの、長期預金の短期振替に伴う減少により投資その他の資産が82億73百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、461億45百万円で、前連結会計年度末に比べ49億54百万円増加いたしました。これは長期借入金の短期振替に伴う減少により固定負債が29億56百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が22億35百万円、未払金や設備関係未払金など流動負債のその他の増加により流動負債が79億11百万円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,653億96百万円で、前連結会計年度末に比べ54億2百万円増加いたしました。これは期末配当金39億25百万円の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を63億99百万円確保したことや投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が11億2百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定が18億55百万円増加したことが主な要因であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は74.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想数値から変更しておりません。

また、為替相場は105円/\$を想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症は、今後の経過によっては、当社グループの経営成績および財政状態の状況に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,822	57,038
受取手形及び売掛金	26,302	29,876
有価証券	2,999	3,999
商品及び製品	6,943	7,978
仕掛品	4,197	4,774
原材料及び貯蔵品	6,517	6,334
その他	2,255	2,171
貸倒引当金	△96	△89
流動資産合計	96,943	112,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,664	30,651
その他(純額)	24,447	25,888
有形固定資産合計	53,112	56,539
無形固定資産		
	620	680
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	3,683	3,885
長期預金	28,000	18,000
その他	18,840	20,363
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	50,510	42,236
固定資産合計	104,242	99,457
資産合計	201,185	211,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,745	15,981
短期借入金	-	3,900
未払法人税等	2,219	2,117
賞与引当金	2,374	2,250
その他	6,853	8,854
流動負債合計	25,193	33,104
固定負債		
長期借入金	10,962	6,880
退職給付に係る負債	484	524
その他	4,550	5,635
固定負債合計	15,997	13,040
負債合計	41,191	46,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,253
利益剰余金	125,795	128,269
自己株式	△14,477	△14,175
株主資本合計	141,166	143,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,669	8,772
為替換算調整勘定	2,606	4,462
退職給付に係る調整累計額	113	96
その他の包括利益累計額合計	10,389	13,330
新株予約権	304	215
非支配株主持分	8,133	7,862
純資産合計	159,994	165,396
負債純資産合計	201,185	211,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	57,203	64,808
売上原価	37,776	41,681
売上総利益	19,427	23,126
販売費及び一般管理費	12,762	13,552
営業利益	6,664	9,574
営業外収益		
受取利息	51	58
受取配当金	209	206
為替差益	-	368
デリバティブ評価益	250	-
その他	128	81
営業外収益合計	639	715
営業外費用		
支払利息	30	34
デリバティブ評価損	-	173
為替差損	281	-
租税公課	187	-
その他	18	28
営業外費用合計	518	237
経常利益	6,785	10,052
特別利益		
固定資産売却益	150	-
その他	-	1
特別利益合計	150	1
特別損失		
固定資産除却損	10	67
投資有価証券評価損	1	-
環境対策費	-	200
その他	-	0
特別損失合計	12	268
税金等調整前四半期純利益	6,924	9,785
法人税、住民税及び事業税	1,157	2,625
法人税等調整額	196	△94
法人税等合計	1,353	2,531
四半期純利益	5,570	7,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	930	854
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,639	6,399

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	5,570	7,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△502	1,102
為替換算調整勘定	△634	2,364
退職給付に係る調整額	△25	△17
その他の包括利益合計	△1,162	3,449
四半期包括利益	4,408	10,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,547	9,339
非支配株主に係る四半期包括利益	860	1,363

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,924	9,785
減価償却費	3,702	3,223
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	280	△135
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△240	△201
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9	2
受取利息及び受取配当金	△260	△265
支払利息	30	34
為替差損益(△は益)	474	△665
デリバティブ評価損益(△は益)	△250	173
固定資産除却損	10	67
売上債権の増減額(△は増加)	156	△2,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△485	△899
仕入債務の増減額(△は減少)	1,058	1,618
前受金の増減額(△は減少)	△33	15
その他	676	452
小計	12,005	10,534
利息及び配当金の受取額	268	265
利息の支払額	△30	△34
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△781	△2,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,461	7,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,000	△7,000
有価証券の売却による収入	4,000	6,000
定期預金の純増減額(△は増加)	569	-
有形固定資産の取得による支出	△3,197	△3,623
有形固定資産の売却による収入	455	6
無形固定資産の取得による支出	△56	△171
投資有価証券の取得による支出	△96	-
長期預金の預入による支出	△9,000	-
長期預金の払戻による収入	23,000	-
その他	75	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,750	△4,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△152	△182
株式の発行による収入	-	200
自己株式の売却による収入	153	260
配当金の支払額	△2,493	△3,919
非支配株主への配当金の支払額	△884	△1,502
その他	△37	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,414	△5,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	△381	1,040
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,415	△939
現金及び現金同等物の期首残高	29,229	42,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,645	41,789

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2019年8月7日開催の取締役会決議により、当社の福利厚生制度を拡充するとともに、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、「信託型従業員持株プラン」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。

(1) 取引の概要

本プランは、「東京応化社員持株会」(以下、「当社持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「東京応化社員持株会信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、その設定後5年間にわたり、当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得し、当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却します。信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

本プランは、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ると同時に、福利厚生の増進策として、当社持株会の拡充を通じて従業員の株式取得および保有を促進することにより従業員の財産形成を支援することを狙いとしています。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度1,049百万円、251千株、当第2四半期連結会計期間954百万円、228千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度	962百万円
当第2四半期連結会計期間	780百万円

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	55,964	1,239	57,203	—	57,203
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	32	34	△34	—
計	55,966	1,271	57,238	△34	57,203
セグメント利益または 損失(△)	9,190	△294	8,896	△2,231	6,664

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△2,231百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△2,231百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり
 ます。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,937	870	64,808	—	64,808
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	33	34	△34	—
計	63,938	903	64,842	△34	64,808
セグメント利益または 損失(△)	12,313	△225	12,087	△2,513	9,574

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△2,513百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△2,513百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり
 ます。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。